

粕谷和夫の観察日記より。管理の行き届いた雑木林で咲いていたカタクリとアズマイチゲです（3月21日）。カタクリとアズマイチゲを1枚の写真の中に納めたのは初めてです。林の中ではシジュウカラがさえずっていました。

# 紅葉台



# 新聞

第235号

2026年

5月23日

発行人：関谷 孝

## 得する まちのゼミナール「まちゼミ」

「縁とは不思議なもの」といいます。拓殖大学の散歩会も1年半続いています。馬に餌をあげ若い学生さんと話すのも楽しみ。その上学食でランチを食べながらお喋りの花が咲くのも魅力です。はたから見れば何てことないように見えますが、そんなことはありませんよ。様々な情報交換の場になっています。毎週木曜日に休みを取って参加している仲さんが友人からもらったパンフレットが今回の話の中心です。それが「八王子のまちゼミ」との出会いです。



んが切田さんから受け取ったチラシから「まちゼミ」があることを知りました。縁は不思議なものです。

「まちゼミ」は、八王子の街を盛り上げるため商店街の新たな取り組みとして登場しました。委員長は地元で有名な肉の富士屋さん。2代目3代目の若い店主の皆さんが中心になって「八王子まちゼミ実行委員会」を立ち上げ日夜アイデアを練っています。また、「八王子国の歩き方」のナビゲーターとして YouTube で人気の中野智行さんがまちゼミの広報大使です。（以前も紹介しましたが「八王子国の歩き方」を是非ご覧ください）

そんな風に人と人をつながっている八王子の街はこれから新しい発展や希望を感じます。このまちゼミを知ってますます応援したくなりました。何はともあれ下記の場所から「まちゼミ」のパンフレットをゲットして興味を持ったお店にお出かけになってみませんか！八王子の新たな発見とともにこの街がますます好きになること間違いなしです。



《各参加店》 毎回参加する店舗には必ず置いてあります。JR 八王子駅北口インフォメーションセンター 毎日数万人が利用するJR八王子駅北口の階段を降りた正面にインフォメーションセンターがあります。毎回多くのチラシを準備して



お待ちしています。  
八王子市役所・各支所・図書館 八王子市役所関連の公共施設、市民センター、市民図書館  
スーパーアルプス市内16全店。チラシをご覧になって講座の申し込みをします。



## 粕谷和夫の観察日記



江戸東京野菜の一つ、「軟白ウド」です。軟白ウドは地下で日光を当てずに育てるため、全体が白くなります。ウドは数少ないわが国原産の野菜の一つ、軟白ウドは江戸時代より武蔵野台地の畑作

農業が盛んな所で栽培されていました。今でも立川市など五日市街道沿いの農家で栽培されています。3月23日、春のお彼岸で立川の実家に墓参りに行き、帰りにお土産として頂きました。シャキッとした歯触りが晩酌のお伴にピッタシです。

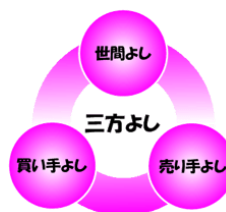
3月29日、東京都内は桜が満開の発表があった日、八王子は満開の一步手前でした。開花した桜にメジロがやって来て素早く動き回っていました。真剣そうなメジロの表情がわかりますか。



まちゼミは、「街から学ぶ、はちおうじ」をテーマに、お店の人が講師となって、専門店ならではの知識やコツを無料で教える、得するまちのゼミナールです。年に2回、4月と10月に開催しています。場所は、八王子の中心市街地（北口）の商店街が53講座参加しています。（2026.3月現在）

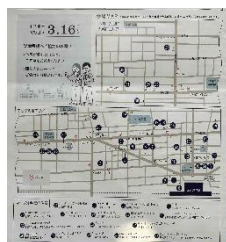
始まりは愛知県岡崎市。2002年愛知県岡崎市から始まった「まちゼミ」事業。地域店舗の店主が講師となりその蓄積された店のノウハウや知識をゼミ形式でお客様に伝える新しいコミュニケーション事業です。講師としての店主はお客様を迎えるために勉強し、準備をすることで店主、従業員ともスキルアップが出来ます。

近江商人の「三方よし」の精神。参加するお客様、ゼミを行う参加店、参加店のある地域の3つが満足を得られる事が出来る事業、それが「まちゼミ」です。どれ一つかけても良くありません。そんな精神のもと参加店、スタッフ一同で取り組んでいます。



全国に広がるまちゼミの輪。今や全国47都道府県460ヶ所開催（2025.8.19現在）されています。様々な人口規模、地域特性の中で開催されているので、1口にまちゼミといっても色々な取り組みで開催されています。しかし共通したルールやその精神は全国の仲間と同じです。①受講料ナシ ②販売勧誘ナシ ③短時間受講が共通のルールです。安心して気軽に参加してください。

「皆さんに来てもらい参加してお店のことを知ってもらうことが目的です。その後、気に入ったら会員になってきてくださいね！」と切田さんが話していました。切田弥侑暉さんは「純粋アロマオイルでクリーム作り」をしています。「これまでも八王子だけでなく遠くからきてくださった方もいて、アロマオイルの良さを知ってもらいリピーターになった方もいます」とのこと。そもそも仲さ



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。